



## 同級生交歓

東京・中央区「日本橋 皆美」にて（撮影 本社・釜谷洋史）

（前列右から）茨城大学人文社会科学部教授

永井典子

東京都立多摩総合医療センター内科部長

西尾康英

国土交通事務次官

毛利信一

広島大学大学院国際協力研究科教授

石田洋子

シスメックス上席執行役員

神田博

日本アークセス取締役専務執行役員

亀岡正彦

東芝キャリア北米社代表取締役社長

本郷一郎

大同大学情報学部教授

大東憲一

（後列右から）

藩校の流れを汲む松江北高は、旧制松江中学の文武両道の伝統も受け、高校総体でもしばしば優勝。我々が卒業した昭和五十一年当時も、誰もが課外活動や趣味に自己主張の場を見出し、勉強だけの秀才はいなかった。

その代表が東大文Iに進んだ毛利。陸上部引退後生徒会長職を勤め、その経験が国会答弁にも活かされている。応援団に所属して人望厚い本郷は、東大工学部から東芝

に入社。かつて島根県中を自転車で走破した行動力で、世界を飛び回る。石田は松江藩お抱え力士を先祖とする家のお出で、東大文学部を卒業した後、途上国支援の経験を活かして広島大と東大で教鞭をとる。ミシガン大学大学院で言語学博士を取得後、デューク大学での研究・教育を経て現職の永井は、剣道部出身。野球部で甲子園を目指したのが神田と亀岡。神田は広島大で電気を専攻し、医療機器メーカーの事業推進を担う。慶應大進学後も東京六大学野球でプレーした亀岡は、伊藤忠商事執行役員から現職へ。安来出身の大東は、斐伊川上流に栄えた、たたら製鉄と治水技術の伝統を受け、名古屋大工学部へ。北高ギター部から名大ギターマンドリンクラブに在籍、東京公演開催に貢献した。西尾は校内マラソン表彰台を目指して東出雲の田舎道を走り、東京医科歯科大進学後も心身の鍛錬を継続し、体形維持と生活習慣病予防に取り組む。最後に、この日の撮影会場となった「日本橋 皆美」の当主・皆美佳邦も同級生。撮影終了後、皆美家家伝の鯛めしを全員で堪能した。

（西尾）